

第4問

次の詩は、南宋時代の詩人・劉克莊りゅうくわくせうが辺地における城塞じょうさいの建設をテーマに「築城行ちきじやうぎやう(城を築くうた)」と題して詠んだものである。これを読んで、後の問い(問1〜6)に答えよ。設問の都合で④句は返り点と送り仮名を、⑨句は送り仮名を省いてある。(配点 50)

① 万 夫 喧けん 喧けんトシテ 不レ 停とどメ 杵しよラ
(注1)

② 杵 声 丁たう 丁たうトシテ 驚カス 后のち 土つち
(注2)

③ 遍あまねクシテ 村ニ 開キテ 田ヲ 起コシ 窯かま 竈どら
(注3) (注4)

④ 望 青 斫 木 作 楼 櫓

⑤ 天 寒クラ 日 短クシテ 工 役 急ナリ

⑥ 白しろ 棒 詞か 責せき 如シ 風 雨

⑦ 漢かん 家 丞じやう 相しやう 方まさニ 憂うれ 辺へ

⑧ 築^{キテ} 城^ヲ 功^ニ 高^{キハ} 除^{ジヨセラル} 美^ニ 官^ニ

⑨ 旧 時 広 野 無^レ 城 処

⑩ 而^シ 今^{コン} 烽^{ホウ} 火^{クワ} 列^{ツラナル} 屯^{トン} 戍^{ジユ}

⑪ 君 不^ヤ 見 高 城 齧^{ガツ} 齧^{ガツトシテ} 如^{キモ} 魚^{ギョ} 鱗^{リン}

⑫ 城 中 蕭^{セウ} 疎^{ソトシテ} 空^{シク} 無^シ 人

(注) 1 杵——土台を突き固める道具。

3 遍^レ村——村全体にわたり。

5 白^レ棒——白い棍棒。

7 漢家丞相——ここでは南宋政府の宰相のこと。

9 而今——いま。

11 屯戍——辺境地帯に兵を駐屯させて守ること。その陣営。

12 齧齧——互い違いに起伏しているさま。

2 后土——土地の神。

4 窯竈——煉瓦を焼くかまど。

6 訶責——大声でしかりつける。

8 除^ニ美官——りっぱな官職に任命される。

10 烽火——敵の来襲を味方に知らせるのろし。

13 蕭疎——ひっそりとしたさま。